

■ フェスティバルタウンはこだての形成について

1 趣旨

函館らしい魅力あるイベントを体系化、組織化し、年間を通して連続させていくことにより、新たな観光都市ブランドの構築を図り、賑わいと活気のあるまち「フェスティバルタウン」の形成を推進する。

2 目指すべき方向性

地域アイデンティティの醸成

多くの人々がイベントに参加し、運営に関わることで、函館の魅力が再認識されるとともにまちへの誇りや地域愛が育まれる。「フェスティバルタウン」の理念は地域を一つに結ぶ求心力となりうるものであり、地域アイデンティティの醸成に繋がるテーマである。

グローバル化

海外からのイベント参加やイベントの国際間連携を活発化させるとともに、外国人のボランティア参加を促進するなど、文化的多様性をまちの活力としながら、国内外から様々な人が集い、交流するグローバルなまちづくりを目指す。

交流人口の拡大

フェスティバルタウンの形成により、従来の夜景や異国情緒といった函館の持つ魅力に加えて、市内で開催されているイベントの魅力を広く国内外に情報発信することで、イベントを新たな来訪の動機付けとして交流人口の拡大を図る。

3 方向性と施策を結ぶ 5つのキーワード

高める

イベントのブラッシュアップ

- ・コンテンツの充実
- ・コンセプトの深化
- ・周辺への波及効果

創る

新しいイベントの創出

- ・「光」をテーマにした冬のイベント
- ・一年を通じた連続性、閑散期の集客

文化を培う イベント文化の醸成

- ・地域への愛着、誇り
- ・地域の一体化

伝える

イベント情報の発信

- ・様々なツールで国内外に情報発信
- ・WEBサイトで正確な情報提供

繋がる

多様な連携による魅力向上・最適化

- ・主催団体同志の連携、行政や経済界等との連携
- ・他都市・海外イベントとの連動

初期段階

～2020

- ・地域内での認知浸透・定着
- ・冬季イベントの新設
- ・イベントの誘客力向上、情報発信の高度化
- ・イベントに関わる地域連携の仕組みづくり

中間段階

2021～2025

- ・国内外からの認知度向上、組織化、体系化の取組み
- ・一年を通じた魅力あるイベントの連続
- ・イベント文化の醸成とコミュニティの活性化

発展段階

2026～2030

- ・国際的イベントへの発展
- ・世界が注目する都市ブランドの確立
- ・地域アイデンティティの形成